

今日のシライ中

本の翼

白井中学校図書室から VOL.2

「過去は変えられません。でも私たちは2週間後の未来を変えることができます。」

最近よく耳にする言葉ですが、この言葉を聞いたとき、ある本を思い出しました。

『ブロード街の12日間』

デボラ・ホプキンソン 作 千葉茂樹 訳 あすなる書房

という本です。1854年に、ロンドンの下町ブロード街で実際に起こった、コレラという伝染病の感染源を追求していくフィクションをもとに、作者が創作を加えて物語にした本です。感染源を追っているスノウ博士が少年イールに、「いつの日かかならず、この病気に対抗する手段が開発されて、治療法も、伝染を防ぐ方法も見つかる」と信じているよ。そうさ、私は心の底から祈っている。でも、そのためには時間と努力が必要なんだ」「きみにも手伝ってほしいんだよ」と語りかけます。そしてイールは自分に出来ることを始めます。

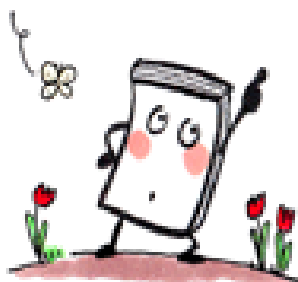
過去のいろいろな人たちの行動や努力が今に繋がっていると強く思う一冊です。テーマから暗い本のように感じられますが、最後は前向きになれる。



いろいろ我慢の多い時ですが、今のみなさんのがんばりがきっと未来を良い方向にかえてくれます。

『人生はワンチャンス!』『人生はニャンとかなる!』

水野敬也・長沼直樹 文響社



の2冊は癒されます。それぞれカワイイ犬と猫の写真とその写真にマッチしたキャッチコピー、偉人の逸話・格言で、人生で大切な教えが紹介されています。ちょっとストレスが溜まっているときページをめくるとほんわかします。ここで写真をお見せできないのが残念です!